

40 故松野貞一郎法学士の一周忌法会

〔『法学新報』第三十五号 明治二十七年二月二十八日〕

○故松野法学士の一周忌法会

故大審院判事、東京法学院講師、従五位松野貞一郎先生か病を得て遂に起たす冥界万里の客となられたるは実に明治廿六年二月八日なり、本年二月八日は一周忌に相当するを以て親戚、知己、子弟相会して法会を先生の菩提所なる浅草崇福寺に於て執行す、拾余の僧侶経を読み香を捧ぐるの際席にあるもの面を掩はさるなし、会するもの親戚を始めとして順次靈前に拝礼香華を手向けて、退く此日天雲濛々自然もまた先生の靈を悼むに似たり、厳肅鄭重なる法会を終りて、上野桜雲台に於て追悼の宴を開く、語、先生の徳に及はさるなし宴に臨める氏名左の如し

奥田義人 土方寧 田中文藏 北代勝
大橋樹太郎 朝倉外茂鐵 岸清一 恩田熊壽郎
小松謙次郎 元田肇 花井卓藏 岡山兼吉
江木衷 卜部喜太郎 菊池武夫 中村元嘉

山田喜之助 渡辺義雄 穂積八束 伊藤佛治
高橋捨六 穂積陳重 馬場愿治 中橋徳五郎
川目亨一 羽生顯親 石渡敏一 坂本武治